アナログ・デジタル一般業務用無線システム

MOTOTRBO™ XiR™ M8220 / XiR™ M8228
車載型無線機 標準モデル

ユーザーガイド

MOTOROLA

目次

このユーザーガイドには、XiR シリーズ デジタルモバイル無線機 の使用に必要なすべての情報が記載されています。

重要な安全情報 iii
製品の安全性と RF 暴露に関する要件の準拠 iii

ソフトウェアバージョン iii

コンピュータソフトウェア著作権 iv

はじめに 1
このガイドの使用方法 1
ディーラー / システム管理者からの情報 1
無線機の電源を入れる 2
音量調整 2

無線機コントロールの特定 3
無線機コントロール 3
プログラム可能なボタン 4
指定可能な無線機機能 4
指定可能な設定 / ユーティリティ機能 5
プッシュ トゥ トーク (PTT) ボタン 5
一般アナログ / デジタルモードの切り替え 6
キャパシティプラス 7

ステータスインジケータの特定 7
ディスプレイアイコン 7
LED インジケータ 8
音声トーン 9
インジケータトーン 9

通話の着信と発信 10
サイト選択 10
ゾーン選択 10
無線チャンネル、加入者 ID 、またはグループ ID を選択 11
無線通話の受信と応答 11
グループ通話の受信と応答 12
プライベート通話の受信と応答 12
一斉通話の受信 13
無線通話の発信 14
チャンネル選択ボタンからの発信 14
グループ通話発信 14
プライベート通話発信 14
一斉通話の発信 15
ワンタッチでグループまたはプライベート通話を発信アクセスボタン 15
無線通話の停止 16
ダイレクトモード 17
常設モニター 17

高度機能 18
スキャンリスト 18
スキャン 19
スキャン開始と停止 19
スキャン中の送信への応答 19
迷惑チャンネルの削除 20
迷惑チャンネルの復元 20
通話インジケータ設定 21
警告トーンの音量を上げる 21
ページング 21
ページングの受信と応答 21
ワンタッチアクセスボタンでページングをする 21
緊急アラーム 22
緊急アラームの送信 22
通話及び緊急アラームの送信 23
ハンズフリー緊急アラームの送信 23
緊急モードの再開 24
緊急モードの終了 24
テキストメッセージング機能 25
クイックテキストメッセージの送信 25
プライバシー 25
IP サイト接続 26
自動サイト検索の開始 27
自動サイト検索の停止 27
手動サイト検索の開始 27
ローンワーカー 28
ユーティリティ 28
スケルチレベルの設定 28
パワーレベルの設定 29
オプションボード機能のオンとオフの切り替え 29
音声起動送信 (VOX) 機能のオンとオフの切り替え 29
パブリックアドレスシステムのオンとオフの切り替え 30
外部 PA システムのオンとオフの切り替え 30
クラクション / ライトのオンとオフの切り替え . 30
無線機トーン / 警告のオンとオフの切り替え . . . 30
アクセサリ 31
アンテナ 31
音声 32
ケーブル 32
デスクトップアクセサリ 32
マウンティングキット 33
リモートマウントアダプター キット 33
スピーカ 33
その他アクセサリ 33

重要な安全情報

製品の安全性と RF 暴露に関する要件の準拠

注 意

本製品をご使用になる前に、無線機に同封されている製品の安全性と RF 暴露に関する冊子に記載されている安全な利用のための操作説明書をお読みください。

注意！

この無線機は、FCC RF エネルギー暴露要件を準拠した業務用の利用に限定されています。本製品をご使用になる前に、無線機（Motorola 出版物パート数 6804112J96）に同封されている製品の安全性と RF 暴露に関する冊子に記載されている RF エネルギー認識情報と操作説明書をご一読いただき、RF エネルギー暴露制限を確実に順守してください。

Motorola 承認済みのアンテナとその他アクセサリのリストは、以下のウェブサイトでご覧ください：

http://www.motorola.com/governmentandenterprise

ソフトウェアバージョン

以下の項で説明されているすべての機能が、無線機ソフトウェアバージョン **R01.06.00** 以降でサポートされます。

サポートされるすべての機能の詳細については、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

コンピュータソフトウェア著作権

本マニュアルに記載されている Motorola 製品には、半導体メモリやその他メディアに保管されている著作権取得済み Motorola コンピュータプログラムが含まれている場合があります。米国およびその他諸国の法律で、著作権取得済みのコンピュータプログラムの一定の独占権が Motorola のために保護されています。この際、著作権取得済みコンピュータプログラムを形式を問わず複製あるいは再生する独占権が含まれますが、これに限定されません。従って、本マニュアルで説明される Motorola 製品に含まれるいかなる著作権取得済み Motorola コンピュータプログラムをも、Motorola からの書面による明示的な許可なしに、いかなる方法においても複製、再生、修正、リバースエンジニアリング、配信してはなりません。さらに、Motorola 製品の購入は、直接的あるいは黙示的、禁反言的、またはその他の方法によって、Motorola の著作権、特許または特許アプリケーションの対象となる一切のライセンスを付与するものとはみなされないものとします。ただし、製品の販売において法の運用によって生ずる通常の非独占的な使用ライセンスについては、この限りではありません。

本製品に組み込まれている AMBE+2™ 音声コーディング技術は、Digital Voice Systems, Inc. の特許、著作権、企業秘密を含む知的所有権で保護されています。

この音声コーディング技術は、このコミュニケーション機器の範囲内での使用のみを対象にライセンス付与されています。この技術を使用するユーザーは、オブジェクトコードを逆コンパイル、リバースエンジニアリング、逆アセンブルしようと試みること、またはいかなる方法においてもオブジェクトコードを人間が読み取り可能な形式に変換しようと試みることを明確に禁じています。

米国特許 Nos. #5,870,405, #5,826,222, #5,754,974, #5,701,390, #5,715,365, #5,649,050, #5,630,011, #5,581,656, #5,517,511, #5,491,772, #5,247,579, #5,226,084 および #5,195,166

はじめに

まずは以下をご確認ください：

このガイドの使用方法 . . . . . .1 ページ
ディーラー / システム管理者からの情報 . . . . . .1 ページ
無線機の電源を入れる . . . . . .2 ページ
音量調整 . . . . . .2 ページ

このガイドの使用方法

このユーザーガイドでは、数字ディスプレイ付きの MOTOTRBO モバイルの基本的な操作方法を説明しています。

ただし、ディーラーやシステム管理者が、特定のニーズのために無線機をカスタマイズしている可能性もあります。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

このガイドでは、アナログモードとデジタルモードのみの機能を区別するために、二つのアイコンが使われています。

一般**アナログモード**のみの機能を示しています。

一般**デジタルモード**のみの機能を示しています。

アナログとデジタルの**両方**のモードで利用可能な機能については、アイコンは表示**されません**。

一部の機能は単一サイトとランキングモードであるキャパシティプラス**でも**利用できます。詳しくは、7 ページの**キャパシティプラス**を参照してください。

ディーラー / システム管理者からの情報

以下については、ディーラーまたはシステム管理者にご相談ください。

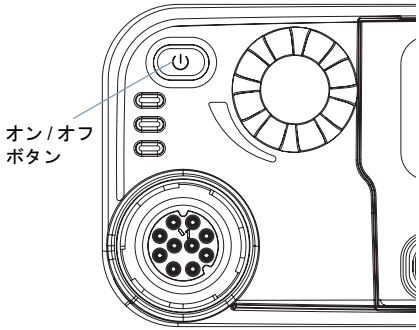
- 無線機は、事前設定の従来チャンネルがプログラムされているか？
- 他の機能にアクセスするためにどのボタンがプログラムされているか？
- どのオプションアクセサリが自分のニーズに対応するか？

無線機の電源を入れる

オン/オフボタンを短く押す。

緑色の LED が点滅し 数字ディスプレイスクリーンのライトが点灯します。

短いトーン音は、電源テストが成功したことを示しています。



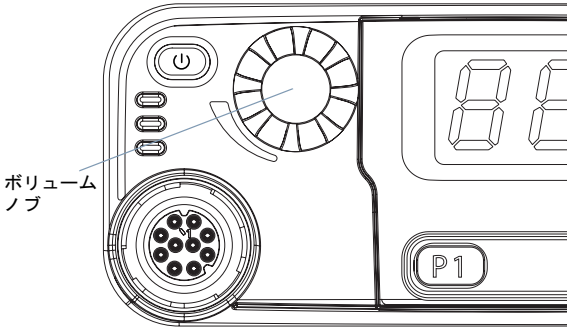
注：無線機トーン / アラート機能が無効になっている場合、パワーアップトーンはありません（30 ページの**無線機トーン / 警告のオンとオフの切り替え**参照）。

無線機の電源が入らない場合、ディーラーにお問い合わせください。

無線機の電源を切るには、オン / オフボタンを押し続けてください。

音量調整

音量を上げるには、**ボリュームノブ**を時計回りに回します。



音量を下げるには、ボリュームノブを反時計回りに回します。

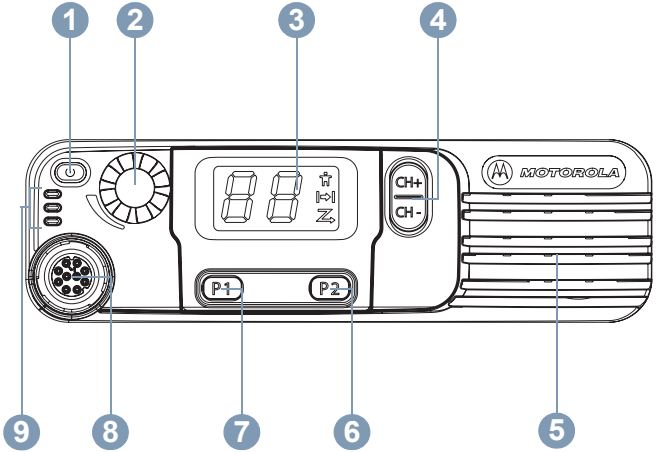
無線機コントロールの特定

まずは以下をご確認ください：

無線機コントロール . . . . . .3 ページ
プログラム可能なボタン . . . . . .4 ページ
プッシュ トゥ トーク (PTT) ボタン . . . . . .5 ページ
一般アナログ / デジタルモードの切り替え . . . . . .6 ページ
キャパシティプラス . . . . . .7 ページ

無線機コントロール

1. オン / オフボタン
2. ボリュームノブ
3. ディスプレイ
4. チャンネル選択ボタン
5. スピーカー
6. フロントボタン P2*
7. フロントボタン P1*



8. アクセサリコネクタ
9. LED インジケータ

* これらのボタンはプログラム可能です。

プログラム可能なボタン

担当のディーラーは、ボタンを押す長さに応じて**無線機の機能**、または最大 6 個の **リセットチャンネル / グループ**へのショートカットとして、プログラム可能なボタンをプログラムできます。

- 押す – 押してすぐに放します (0.05 秒)。
- 長押し – プログラムされた長さの間 (1 秒から 3.75 秒の間) 押し続けます。
- 押し下げる – ボタンを押し続けます。

注：ボタンを押す長さの設定は、緊急を除くすべての指定可能な無線 / ユーティリティ機能または設定に適用することができます。詳しくは、22 ページの**緊急アラーム**を参照してください。

指定可能な無線機機能

緊急 – プログラムに応じて、緊急アラームや通話を始動またはキャンセルします。

Ext PA オン / オフ – 接続されたパブリックアドレス（PA）ラウドスピーカーアンプと無線機内部パブリックアドレス（PA）システムの間の音声ルーティングを切り替えます。

手動サイトローミング * – 手動サイト検索を開始します。

迷惑チャンネル削除 * – 選択されたチャンネルを除く不要なチャンネルをスキャンリストから一時的に削除します。選択されたチャンネルとは、スキャンの開始元としてユーザーが選択したゾーン / チャンネルの組み合わせを指します。

ワンタッチアクセス – 事前に定義したグループまたはプライベート通話、ページング、クイックテキストメッセージを直接開始するか、ユーザをプリセットチャネルへ戻します。

オプションボード機能 – オプションボード有効チャンネルで、オプションボード機能のオンとオフを切り替えます。

PA オン / オフ – 無線機の内部パブリックアドレス（PA）システムのオンとオフを切り替えます。

常設モニター * – 機能が無効になるまで、すべての無線機トラフィックの選択されたチャンネルを監視します。

プライバシー – プライバシーのオンとオフを切り替えます。

リピーター / ダイレクトモード * – リピーターの使用と、別の無線機との直接的なコミュニケーションとを切り替えます。

スキャン * – スキャンのオンとオフを切り替えます。

サイトロックオン / オフ * – 自動サイトローミングのオンとオフを切り替えます。

テレメトリーコントロール – ローカルまたはリモート無線機で、出力 Pin をコントロールします。

* キャパシティプラスでは利用不可

リモート送信解除 – 現在進行中の割込み可能な通話を停止し、チャネルを解放します。

音声起動送信 (VOX) – 音声起動送信のオンとオフを切り替えます。

ゾーン – ゾーンのリストからの選択を可能にします。

指定可能な設定 / ユーティリティ機能

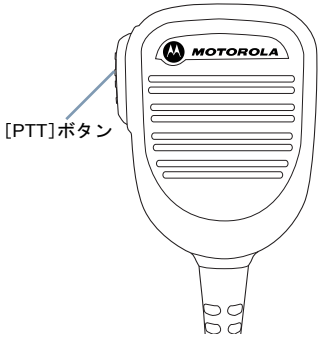
すべてのトーン / 警告 – すべてのトーンのオンとオフを切り替えます。

パワーレベル – 送信パワーレベルの高低を切り替えます。

スケルチ – 通常と深いのスケルチレベルを切り替えます。

プッシュ トゥ トーク (PTT) ボタン

マイクの横側にある［**PTT**］ボタンは、二つの基本的な目的上、役に立ちます。



- 通話中、［**PTT**］ボタンを使うと、無線機を通話中の他の無線機に送信できます。

  ［**PTT**］ボタンを押し下げて話します。［**PTT**］ボタンを放して聞きます。

  ［**PTT**］ボタンを押すと、マイクが有効になります。

- 通話していない間、新規通話を発信するには［**PTT**］ボタンを使います（14 ページの**無線通話の発信**を参照）。

プログラムに応じて、通話許可トーンまたは **PTT** サイドトーンが有効となっている場合、短い警告トーンが終了してから話します。

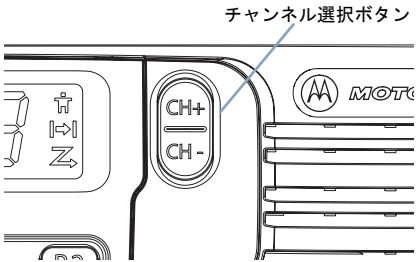
通話中、お使いの無線機でチャンネルフリー指示機能が有効になっている（ディーラーによってプログラムされている）場合、相手先の無線機（電話を受けている無線機）が［**PTT**］ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。

また、無線機が緊急通話を受けた際など、通話が中断された場合、チャンネルフリー指示トーンが鳴ります。

すべての無線機トーンや警告を無効にすることにより、チャンネルフリー指示トーンまたは **PTT** サイドトーン をオフにできます（30 ページの**無線機トーン / 警告のオンとオフの切り替え**参照）。

一般アナログ / デジタルモードの切り替え

無線機の各チャンネルを、一般アナログチャンネルか一般デジタルチャンネルとして設定できます。チャンネル選択ボタンを使って、アナログチャンネルとデジタルチャンネルを切り替えます。



デジタルからアナログモードに切り替えると、一定の機能が利用できなくなります。

無線機には、アナログとデジタルの両方のモードで利用できる機能もあります。ただし、それぞれの機能方法のわずかな違いが、無線機の性能に影響を及ぼすことは**ありません**。

注：また、無線機は、デュアルモードスキャン中にデジタルとアナログのモードが切り替わります（19 ページの**スキャン**参照）。

キャパシティプラス

キャパシティプラスは、MOTOTRBO 無線機システムの単一サイトトランキング構成であり、多数のユーザーと最大で 254 のグループをサポートするためのチャンネルプールを使用します。この機能を使用すると、リピーターモードのとき、お使いの無線機でプログラムされたチャンネル数を有効活用できます。

プログラマブルボタンを押してキャパシティプラスでサポートされる機能にアクセスできる場合**のみ**、チャンネル選択ボタンからキャパシティプラスのチャンネルにアクセスできます。

キャパシティプラスでは利用できない機能にプログラマブルボタンを押してアクセスしようとすると、ネガティブインジケータトーンが鳴ります。

無線機には、一般デジタルモードとキャパシティプラスの両方のモードで利用できる機能もあります。ただし、それぞれの機能方法のわずかな違いが、無線機の性能に影響を及ぼすことは**ありません**。

このシステムの詳細については、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

ステータスインジケータの特定

以下によって、お使いの無線機の操作ステータスが示されます:

ディスプレイアイコン . . . . . 7 ページ
LED インジケータ . . . . . 8 ページ
音声トーン . . . . . 9 ページ
インジケータトーン . . . . . 9 ページ

ディスプレイアイコン

7 つに分けられたディスプレイが、無線機チャンネルとステータスを示します。
以下は、無線機のディスプレイに表示されるアイコンです。

プライベート通話
プライベート通話中であることを示します。

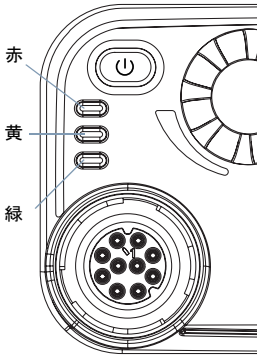
ダイレクトモード *
リピーターがない場合、ディレクト無線機が無線通信に設定されています。

スキャン *
スキャン機能が有効になっています。

* キャパシティプラスでは利用不可

LED インジケータ

LED インジケータは、無線機の操作ステータスを示します。



赤色の点滅 – 無線機が緊急送信を受信しているか、あるいは電源を入れた際のセルフテストが失敗しています。

黄色の点灯 – 無線機がチャンネルを監視しています。

黄色の点滅 – 無線機がアクティビティをスキャンしているか、あるいはページングを受信しています。

黄色の 2 回点滅 – 無線機がキャパシティプラスであってもリピーターに接続されていないか、キャパシティプラスの全チャンネルが現在ビジーです。

黄色の急速な点滅 – 無線機が現在、新しいサイトを検索しています。

緑色の点灯 – 無線機が送信しています。

緑色の点滅 – 無線機の電源が入り、非プライバシー有効通話またはデータを受信しているか、OTA （over the air）のアクティビティを検知しています。

緑色の急速な点滅 – 無線機がプライバシー有効通話かデータを受信しています。

注：従来モードで LED が緑色に点滅した場合、無線機がエア接続のアクティビティを検出したことを表します。デジタルプロットコールの性質により、このアクティビティーは無線機のプログラム済みチャンネルに影響を与える、または与えない場合があります。

キャパシティプラスでは、無線機がエア接続のアクティビティを検出する際に LED での通知はありません。

PTT ボタンを押すと、無線機が適切な動作をプログラムされていれば、無線機は通話許可トーンまたは通話拒否トーンによって、送信可能かどうかを自動的に判別します。

音声トーン

警告トーンは、無線機のステータスまたは受信データへの無線機の反応を音声で示します。

連続トーン

モノトーン音終了まで音が続きます。

定期的トーン

無線機で設定された時間に応じ、定期的に音が鳴ります。トーンが開始、中止して、繰り返されます。

反復トーン

ユーザーが終了するまで、シングルトーンが繰り返されます。

瞬間トーン

無線機で定義された短い時間、一度だけ音が鳴ります。

インジケータトーン

高いトーン　　低いトーン

ポジティブインジケータトーン

ネガティブインジケータトーン

通話の着信と発信

MOTOTRBO モバイルの設定方法についてご理解いただけましたら、いよいよ無線機をお使いいただけます。

このナビゲーションガイドを使って、基本的な通話機能に慣れてください。

サイト選択 . . . . . 10 ページ
ゾーン選択 . . . . . 10 ページ
無線チャンネル、加入者 ID 、または
グループ ID を選択 . . . . . 11 ページ
無線通話の受信と応答 . . . . . 11 ページ
無線通話の発信 . . . . . 14 ページ
無線通話の停止 . . . . . 16 ページ
ダイレクトモード . . . . . 17 ページ
常設モニター . . . . . 17 ページ

サイト選択

サイトとは、ベースステーションが設置され、無線機に最適な通信範囲を提供している特定の地域のことです。

有効になっていれば、無線機はインターネットプロトコル (IP) ネットワークを経由して、別の利用可能サイトに接続できます。

詳しくは、26 ページの **IP サイト接続**を参照してください。

ゾーン選択

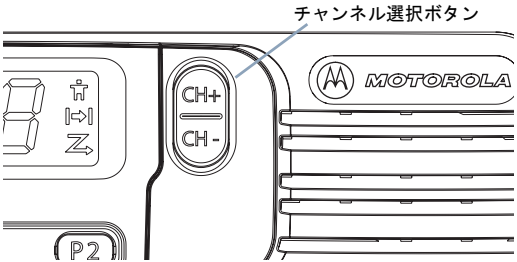
ゾーンとは、チャンネルのグループのことです。無線機は最大 2 つのゾーンをサポートします。1 ゾーンの最大チャンネル数は 32 です。

手順：

1 プログラムされた［**ゾーン**］ボタンを押します。

2 ポジティブインジケータトーンが聞こえます。無線機がゾーン 1 からゾーン 2 に切り替わったことを示しています。
または
ネガティブインジケータトーンが聞こえます。無線機がゾーン 2 からゾーン 1 に切り替わったことを示しています。

■ 無線チャンネル、加入者 ID 、またはグループ ID を選択



手順：

必要なゾーンを設定したら（無線機に複数のゾーンがある場合）、チャンネル選択ボタンを押して、チャンネル、加入者 ID、グループ ID を示す番号を選びます。

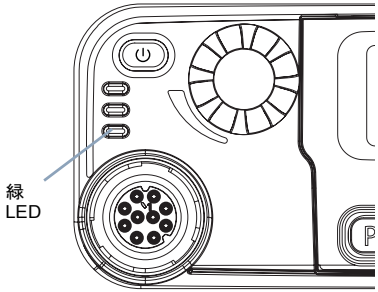
または

事前にプログラムされた ［**ワンタッチアクセス**］ボタンを押し、ボタンに割り当てられたプリセットチャンネルを選択します。

■ 無線通話の受信と応答

チャンネル、加入者 ID、またはグループ ID を設定したら、通話の受信や応答に進むことができます。

無線機が送信している間は緑色の LED が点灯し、無線機が受信している際には点滅します。



注： 無線機の送信中は緑色の LED が点灯し、無線機がプライバシー有効通話を受信している際には急速に点滅します。

プライバシー有効通話のスクランブルを解除するには、お使いの無線機が、送信側無線機（通話を受信している無線機）と同一のプライバシーキー、または同一のキー値とキー ID（ディーラーがプログラミング）を有している必要があります。

詳しくは、25 ページの **プライバシー**を参照してください。

グループ通話の受信と応答

ユーザーのグループから通話を受信するには、お使いの無線機がそのグループの一部として設定されている必要があります。

手順：

グループ通話を受信する際：

1 緑色の LED が点滅します。

チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が［**PTT**］ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが解放され応答できるようになったことを示しています。
通話に応答するには、［**PTT**］ボタンを押します。
または
音声割込み機能が有効になっている場合、[**PTT**] ボタンを押して送信側無線機からの現在の通話を停止し、会話 / 応答ができるようにそのチャンネルを解放します。

2 緑色の LED が点灯します。

3 通話許可トーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。
または
PTT サイドトーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。

4 ［**PTT**］ボタンを放して聞きます。

5 事前に定められた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。

グループ通話について詳しくは、14 ページの**グループ通話発信**を参照してください。

プライベート通話の受信と応答

プライベート通話とは、ある一つの無線機から別の一つの無線機への通話のことです。

プライベート通話には二種類あります。一つは、通話設定の前に無線機プレゼンスチェックが行われる場合で、もう一つは通話を即座に設定するものです。

無線機がチェックされると、緑色の LED が点滅します。

ディーラーは、これらの通話タイプの**いずれか 1 つのみ**を無線機にプログラムできます。

手順：

プライベート通話を受信する際：

1 緑色の LED が点滅します。

2 チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、送信側無線機が［**PTT**］ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが解放され応答できるようになったことを示しています。
通話に応答するには、［**PTT**］ボタンを押します。
または
音声割込み機能が有効になっている場合、[**PTT**] ボタンを押して送信側無線機からの現在の通話を停止し、会話 / 応答ができるようにそのチャンネルを解放します。

3 緑色の LED が点灯します。

4 通話許可トーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。

5 ［**PTT**］ボタンを放して聞きます。

6 事前に定められた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。

7 短いトーンが聞こえます。

プライベート通話について詳しくは、14 ページの**プライベート通話発信** を参照してください。

一斉通話の受信

一斉通話とは、ある一つの無線機からチャンネルの各無線機への通話を指します。ユーザーの注意を十分に促す必要がある重要な通知を行うために使われます。

手順：

一斉通話を受信する際：

1 トーンが鳴り、緑色の LED が点滅します。

2 事前に定められた時間中、音声アクティビティがない場合、一斉通話が終了します。
チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、送信側無線機が［**PTT**］ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが使用できるようになったことを示しています。

一斉通話に応答することはできません。

注： 通話を受信中に別のチャンネルに切り替える場合、無線機は一斉通話の受信を停止します。
一斉通話の間は、通話が終了するまで、プログラムされたボタン機能のいずれも使うことは**できません**。

無線通話の発信

以下を使って、チャンネル、加入者 ID 、グループを選ぶことができます：

- チャンネル選択ボタン
- プログラムされた［**ワンタッチアクセス**］ボタン

注： プライバシー有効送信を送るには、お使いの無線機のチャンネルでプライバシー機能が有効になっている必要があります。お使いの無線機と同一のプライバシーキー、または同一キー値とキー ID を有する相手先無線機のみが、送信のスクランブルを解除できます。
詳しくは、25 ページの **プライバシー**を参照してください。

チャンネル選択ボタンからの発信

グループ通話発信

ユーザーのグループに通話を発信するには、お使いの無線機がそのグループの一部として設定されている必要があります。

手順：

1 チャンネル選択ボタンを押し、アクティブグループ ID のチャンネルを選びます。

2 ［**PTT**］ボタンを押して、通話を発信します。緑色の LED が点灯します。

3 通話許可トーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。
または
PTT サイドトーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。

4 ［**PTT**］ボタンを放して聞きます。相手先の無線機が応答すると、緑色の LED が点滅します。

5 チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、相手先無線機が［**PTT**］ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。［**PTT**］ボタンを押して応答します。
または
事前に定められた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。

プライベート通話発信

許可した個別の無線機が開始したプライベート通話の受信や応答を行うには、お使いの無線機がプライベート通話を開始できるようにプログラムされている必要があります。

この機能が無効になっている場合、**ワンタッチアクセス**ボタンやチャンネル選択ボタンからプライベート通話を行うと、ネガティブインジケータトーンが鳴ります。

クイックテキストメッセージまたはページングを使用して、個別の無線機に連絡します。詳しくは、25 ページの**テキストメッセージング機能**、または 21 ページの**ページング**を参照してください。

手順：

1 チャンネル選択ボタンを押し、アクティブ加入者 ID のチャンネルを選びます。

2 ［**PTT**］ボタンを押して、通話を発信します。緑色の LED が点灯します。

3 通話許可トーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。

4 ［**PTT**］ボタンを放して聞きます。相手先の無線機が応答すると、緑色の LED が点滅します。

5 チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、相手先無線機が［**PTT**］ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。［**PTT**］ボタンを押して応答します。
または
事前に定められた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。

6 短いトーンが聞こえます。

一斉通話の発信

この機能により、チャンネルのすべてのユーザーに送信できます。この機能を使えるよう、お使いの無線機がプログラムされている必要があります。

手順：

1 チャンネル選択ボタンを押し、アクティブな一斉通話グループ ID のチャンネルを選びます。

2 ［**PTT**］ボタンを押して、通話を発信します。緑色の LED が点灯します。

3 通話許可トーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。
または
PTT サイドトーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。

チャンネルのユーザーは一斉通話に応答することはできません。

ワンタッチでグループまたはプライベート通話を発信アクセスボタン

ワンタッチアクセス機能により、事前に設定された ID に対し、簡単にグループやプライベート通話をかけられます。この機能は、ボタンを短くまたは長く押すというプログラム可能なボタンの押し方に割り当てることができます。

［**ワンタッチアクセス**］ボタンに割り当てられる ID は 1 つ**のみ**です。お使いの無線機で、複数の ［**ワンタッチアクセス**］ボタンをプログラムすることが可能です。

手順：

1 プログラムされた ［**ワンタッチアクセス**］ボタンを押し、事前に定義された ID にグループやプライベート通話をかけます。

2 ［**PTT**］ボタンを押して、通話を発信します。緑色の LED が点灯します。

3 通話許可トーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。
または
グループ通話のみ：**PTT**（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。

4 ［**PTT**］ボタンを放して聞きます。相手先の無線機が応答すると、緑色の LED が点滅します。

5 チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、相手先無線機が［**PTT**］ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。［**PTT**］ボタンを押して応答します。
または
事前に定められた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。

プライベート通話の場合、通話が終了すると短いトーンが聞こえます。

無線通話の停止

この機能により、現在進行中のグループまたはプライベート通話を停止し、送信のためにチャンネルを解放することができます。例えば、ユーザーが気づかずに **PTT** ボタンを押してしまう「スタックマイク」の状態にある場合に、この機能を使うことができます。

この機能を使用するには、お使いの無線機をプログラムする必要があります。

手順：

必要なチャンネル上で：

1 プログラムされた ［**リモート送信解除**］ボタンを押します。

2 承認を待ちます。

3 無線機がポジティブインジケータトーンを鳴らします。チャンネルが解放されていることを示しています。
または
無線機がネガティブインジケータトーンを鳴らします。チャンネルを解放できなかったことを示しています。

無線機から発信されている通話が、この機能による割り込みが可能な通話である場合、無線機は **[PTT]** ボタンを放すまでネガティブインジケータトーンを鳴らします。

ダイレクトモード

リピーターが作動していない場合、あるいはお使いの無線機がリピーターの圏外にあるものの他の無線機の通話範囲内にある場合、コミュニケーションを継続できます。これが「ダイレクトモード」と呼ばれる機能です。

注：この機能はキャパシティプラスでは利用不可です。

手順：

1. プログラムされた［**リピーター / ダイレクトモード**］ボタンを押します。
2. ポジティブインジケータトーンが聞こえます。無線機がダイレクトモードモードにあることを示しています。ダイレクトモードアイコンが表示されます。
   または
   ネガティブインジケータトーンが聞こえます。無線機がリピーターモードにあることを示しています。ダイレクトモードアイコンが消えます。

電源が切れた後も、ダイレクトモード設定が保持されます。

常設モニター

常設モニターを使って、選択したチャンネルのアクティビティを継続的に監視します。

注：この機能はキャパシティプラスでは利用不可です。

手順：

1. プログラムされた［**常設モニター**］ボタンを押します。
2. 無線機から警告トーンが鳴り、黄色の LED が点灯します。
3. プログラムされた［**常設モニター**］ボタンを押し、常設モニターモードから無線機を外します。
4. 無線機から警告トーンが鳴り、LED が消えます。

高度機能

このナビゲーションガイドを使って、お使いの無線機で利用可能な高度な機能について詳しく学びましょう。

スキャンリスト . . . . . 18 ページ
スキャン . . . . . 19 ページ
通話インジケータ設定 . . . . . 21 ページ
ページング . . . . . 21 ページ
緊急アラーム . . . . . 22 ページ
テキストメッセージング機能 . . . . . 25 ページ
プライバシー . . . . . 25 ページ
IP サイト接続 . . . . . 26 ページ
ローンワーカー . . . . . 28 ページ
ユーティリティ . . . . . 28 ページ

スキャンリスト

スキャンリストは、個別チャンネル / グループに対して作成され、割り当てられます。現在のチャンネルのスキャンリストで指定されたチャンネル / グループ系列を循環することにより、お使いの無線機が音声アクティビティをスキャンします。

無線機は最大 250 のスキャンリストをサポートします。リスト内の最大メンバー数は 16 です。各スキャンリストはアナログとデジタルの両方が混在するエントリーをサポートするものとします。

注：この機能はキャパシティプラスでは利用不可です。

スキャン

スキャンを開始すると、無線機が現在のチャンネルのプログラムスキャンリストを循環的に調べ、音声アクティビティを検索します。

黄色の LED が点滅し、スキャンアイコンがディスプレイに表示されます。

デュアルモードスキャン中、デジタルチャンネルをお使いの場合、無線機はアナログチャンネルにロックされます。通話中、デジタルモードからアナログモードに自動的に切り替わります。逆もまた同じです。

スキャンには二種類あります。

- **メインチャンネルスキャン (手動)**: お使いの無線機が、スキャンリストにある一斉チャンネル / グループをスキャンします。スキャンを開始すると、設定に応じて、最近スキャンされた「アクティブな」チャンネル / グループ、あるいはスキャンが開始されたチャンネルで無線機が自動的に開始する場合があります。
- **自動スキャン (自動)**: 自動スキャンが有効になっているチャンネル / グループを選択すると、無線機が自動的にスキャンを開始します。

注：この機能はキャパシティプラスでは利用不可です。

スキャン開始と停止

手順：

1 プログラムされた［**スキャン**］ボタンを押します。
または
チャンネル選択ボタンを使って、音声スキャンが有効になっているチャンネルを選びます。

2 スキャンが有効になると、黄色の LED が点滅し、ポジティブインジケータトーンが聞こえます。スキャンアイコンが表示されます。
または
スキャンが無効になると、LED が消え、ネガティブインジケータトーンが聞こえます。スキャンアイコンが消えます。

スキャン中の送信への応答

スキャン中、お使いの無線機はアクティビティが検知されたチャンネル / グループで停止します。無線機は、「ハングタイム」と呼ばれるプログラムされた時間だけそのチャンネルにとどまります。

手順：

1 チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が［**PTT**］ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。

2 ハングタイム中に［**PTT**］ボタンを押します。緑色の LED が点灯します。

3 通話許可トーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。
または
PTT サイドトーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。

4 ［**PTT**］ボタンを放して聞きます。

5 ハングタイム中に応答しないと、無線機は他のチャンネル / グループのスキャンに戻ります。

迷惑チャンネルの削除

チャンネルが不要な通話やノイズ（「迷惑」チャンネルと称する）を作成し続ける場合、その不要なチャンネルをスキャンリストから一時的に削除することができます。

この機能は、選択チャンネルとして指定されたチャンネルには適用されません。

手順：

1 無線機が不要あるいは迷惑チャンネルに「ロック」されたら、プログラムされた［**迷惑チャンネル削除**］ボタンをトーンが聞こえるまで押します。

2 ［**迷惑チャンネル削除**］ボタンを放します。迷惑チャンネルが削除されます。

迷惑チャンネルの復元

手順：

削除された迷惑チャンネルを復元するには、以下の**いずれか**を行ってください：

- 電源を切り、もう一度電源を入れます。**または**
- プログラムされた［**スキャン**］ボタン経由でスキャンを停止し、再開します。**または**
- チャンネル選択ボタン経由でチャンネルを変更します。

通話インジケータ設定

受信したプライベート通話の着信音のオンとオフを切り替えられます (30 ページの**無線機トーン / 警告のオンとオフの切り替え**を参照)。

警告トーンの音量を上げる

無線機通話に応答がない状態が続くと継続的に警告を発するよう、ディーラーが無線機をプログラムできます。時間が経つ毎に警告トーンが自動的に大きくなるようになっています。

この機能はエスカラート（Escalert）として知られています。

ページング

ページングにより、相手が応答できる状態になった際にかけ直すよう、特定の無線機ユーザーに警告することができます。

プログラムされた［**ワンタッチアクセス**］ボタンから、この機能にアクセスできます。

ページングの受信と応答

手順：

ページングを受信すると：

1. 繰り返しトーンが聞こえます。黄色の LED が点滅します。
2. ページングを受信してから 4 秒以内に［**PTT**］ボタンを押して、プライベート通話に応答します。

ワンタッチアクセスボタンでページングをする

手順：

1. プログラムされた［**ワンタッチアクセス**］ボタンを押して事前定義された ID にページングを行います。
2. 無線機がページングを送信している間は緑色の LED が点灯します。
3. ページング承認を受信すると、鳥のさえずりのような高い音が 2 回鳴ります。
   または
   ページング承認が受信されないと、低いトーンが鳴ります。

緊急アラーム

重大な状況を示すために、緊急アラームが使われます。いつでも、どの状態でも、現在のチャンネルでアクティビティがある場合であっても、緊急アラーム作を開始することができます。

担当のディーラーはプログラムされた ［**緊急**］ボタンにボタンを押す長さを設定することができます。

- 押す – 0.05 秒から 0.75 秒の間
- 長く押す – 1 秒から 3.75 秒の間

お使いの無線機は、**3 つ**の緊急アラームをサポートしています：

- 緊急アラーム
- 通話及び緊急アラーム
- ハンズフリー緊急アラーム

また、各警告には以下のタイプがあります：

- **レギュラー** – 無線機が警告シグナルを送信し、音声および視覚的インジケータを示します。
- **サイレント** – 音声あるいは視覚的インジケータなしに、無線機が警告シグナルを送信します。［**PTT**］ボタンを押して通話を開始するまで、相手先の無線機から応答（通話）はありません。
- **音声つきサイレント** – 無線機が警告シグナルを送信します。［**PTT**］ボタンを押して通話を開始、あるいは応答するまで、音声や視覚的インジケータなしに着信通話を受信することができます。

上記の緊急アラームのいずれか **1 つ**のみを、プログラムされた［**緊急**］ボタンまたは**緊急**フットスイッチに割り当てることができます。

緊急アラームの送信

この機能により、他の無線機の警告インジケーションを始動させる音声なしのシグナルである緊急アラームを送信できます。

手順：

1. プログラムされた［**緊急**］ボタンか**緊急**フットスイッチを押します。
2. 緑色の LED が点灯します。
3. 緊急アラーム承認が受信されると、緊急トーンが鳴ります。緑色の LED が点滅します。
   または
   お使いの無線機が緊急アラーム承認を受信せず、再試行が何度もなされた場合、低いトーンが鳴ります。
4. 無線機は緊急アラームモードを終了します。

お使いの無線機がサイレントに設定されている場合、緊急モード中には音声や視覚的インジケータは一切表示されません。

通話及び緊急アラームの送信

この機能により、緊急アラームを別の無線機に送信できます。承認があり次第、両方の無線機がプログラムされた緊急チャンネル上でコミュニケーションを取れます。

手順：

1 プログラムされた［**緊急**］ボタンか**緊急**フットスイッチを押します。

2 緑色の LED が点灯します。

3 緊急アラーム承認が受信されると、緊急トーンが鳴ります。緑色の LED が点滅します。

4 ［**PTT**］ボタンを押して、通話を発信します。緑色の LED が点灯します。

5 通話許可トーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。
または
PTT サイドトーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。

6 ［**PTT**］ボタンを放して聞きます。

7 チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、相手先無線機が［**PTT**］ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。
または
プログラムされた［**緊急**］ボタンを長押しして、緊急モードを終了します。

お使いの無線機がサイレントに設定されている場合、緊急モード中には音声や視覚的インジケータは一切表示されません。また、お客さまが［**PTT**］ボタンを押して通話を開始するまで、相手先無線機からの応答（通話）は一切受信しません。

お使いの無線機が音声つきサイレントに設定されている場合、緊急モード中には音声や視覚的インジケータは一切表示されません。また、相手の無線機から通話を受信している際も同様です。［**PTT**］ボタンを押して通話を開始または応答して初めて、インジケータが表示されます。

ハンズフリー緊急アラームの送信

この機能により、緊急アラームを別の無線機に送信できます。承認があり次第、無線機のマイクが自動的にアクティブになり、［**PTT**］を押さなくても他の無線機と交信できるようになります。

このアクティブな状態のマイクを「ホットマイク」と呼びます。

プログラムされたホットマイク送信時に［**PTT**］ボタンを押しても、無線機は［**PTT**］が押されたことを無視して緊急モードを維持します。

注：ホットマイク中に［**PTT**］ボタンを押し、ホットマイクの期限が切れた後も押し続けると、［**PTT**］ボタンを放すまで無線機は送信を続けます。

手順：

1. プログラムされた［**緊急**］ボタンか**緊急**フットスイッチを押します。
2. 緑色の LED が点灯します。
3. トーンが鳴ったら、マイクに向かってはっきりと話します。ホットマイクが有効になると、ホットマイクが期限切れになるまで、［**PTT**］を押さなくても無線機が自動的に送信します。
4. 送信中、緑色の LED が点灯します。
5. ホットマイクの期限が切れると、無線機は自動的に送信を停止します。再び送信するには、［**PTT**］ボタンを押します。

お使いの無線機がサイレントに設定されている場合、緊急モード中には音声や視覚的インジケータは一切表示されません。また、プログラムされたホットマイク送信時間が終了し、［**PTT**］ボタンを押すまで、相手先無線機からの応答は一切受信しません。

お使いの無線機が音声つきサイレントに設定されている場合、ホットマイクで通話をしている際、あるいはプログラムされたホットマイク送信時間が終了した後で相手先無線機が応答した際には、緊急モード中には音声や視覚的インジケータは一切表示されません。［**PTT**］ボタンを押して初めて、インジケータが表示されます。

緊急モードの再開

この状況が起こるケースは二つあります：

- 無線機が緊急モードである間に、チャンネルを変更する場合です。これにより、緊急モードが終了します。この新しいチャンネルで緊急アラームが有効になると、無線機は緊急を再開します。
- 緊急開始 / 送信状況中に、プログラムされた［**緊急**］ボタンを押した場合です。これにより、無線機がこの状態を終了し、緊急を再開します。

緊急モードの終了

以下の**いずれか**が発生した場合、無線機は緊急モードを終了します：

- 緊急アラーム承認が受信された場合（**緊急アラーム**の場合のみ）
  または
- 警告を送信するすべての再試行が無駄に終わった場合、
  または
- プログラムされた［**緊急**］ボタンが長押しされた場合。

注：無線機の電源を切ると、緊急モードは終了します。もう一度電源を入れた際に、無線機が自動的に緊急モードを再開することはありません。

テキストメッセージング機能

クイックテキストメッセージの送信

ディーラーがプログラムしたクイックテキストメッセージを、プログラム可能なボタン経由で送信できます。

手順：

1 プログラムされた［**ワンタッチアクセス**］ボタンを押し、事前に定義されたクイックテキストメッセージを事前に定義された ID に送信します。

2 緑色の LED が点灯します。

3 高い音が二回鳴り、メッセージが無事送信されたことを示します。
または
メッセージが送信されなかったことを示す低いトーンが鳴ります。

プライバシー

この機能を有効にすると、ソフトウェアベースの秘話通信により不正ユーザーによるチャンネルの盗聴を防止します。

秘話モード通信を行うにはには、お使いの無線機が同一チャンネルでプライバシーを有効にしている必要があります。ただし、送信を受信するには必ずしも必要ではありません。プライバシー有効チャンネル上で、無線機はクリアな（スクランブルされていない）送信を引き続き受信できます。

お使いの無線機は、次の 2 種類のプライバシーをサポートしています：

- 基本プライバシー
- 拡張プライバシー

上記のプライバシータイプのいずれか **1 つ**のみを無線機に適用できます。

プライバシー有効通話またはデータ送信をスクランブル解除するには、お使いの無線機が、送信無線機と同一のプライバシーキー (基本プライバシー)、または同一のキー値とキー ID (拡張プライバシー) を有している必要があります。

無線機が、異なるプライバシーキー、または異なるキー値とキー ID のスクランブル通話を受信した場合、音声が理解できないノイズになる（基本プライバシー）か、まったく何も聞こえません（拡張プライバシー）。

無線機が送信している間は緑色の LED が点灯し、無線機が進行中のプライバシー有効通話を受信している際には急速に点滅します。

注： 無線機モデルには、このプライバシー機能が搭載されていないものがあります。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

手順：

事前にプログラムした［**プライバシー**］ボタンを押し、プライバシーのオンとオフを切り替えます。

IP サイト接続

この機能を使用すると、無線機はインターネット プロトコル (IP) ネットワーク経由で別の利用可能サイトに接続して、単一サイトでは通信範囲外となる地域と通信することが可能になります。

注： この機能はキャパシティプラスでは利用不可です。

無線機があるサイトの通信範囲から別のサイトの通信範囲に移動すると、無線機は新しいサイトのベースステーションに接続して、通話やデータ送信を送受信します。設定に応じて、この切り替えは自動や手動で行われます。

無線機がこの切り替えを自動的に行うように設定されている場合、現在のサイトからの信号が弱くなったり、無線機が現在のサイトから信号をまったく検出できなくなった場合に、無線機はすべての利用可能サイトをスキャンします。その後、無線機は受信信号強度インジケータ (RSSI) 値が最も強いベースステーションにロックします。

手動サイト検索では、無線機はローミングリスト内を検索して、現在通信範囲内にある次のサイト（ただし、信号強度が最も強いサイトとは限らない) を見つけ、そのサイトにロックします。

注： 各チャンネルは、スキャンまたはローミングのいずれか 1 つを有効にできますが、同時に両方を有効にすることはできません。

この機能が有効になっているチャンネルは、特定ローミングリストに追加されます。無線機は、自動ローミング動作時にメンバーリスト内のチャンネルを検索し、最適なサイトを見つけます。

メンバーリストは、最大 16 チャンネルをサポートします（選択されたチャンネルを含む）。

注： メンバーリストへのエントリの追加や削除は手動では行えません。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

自動サイト検索の開始

注： 無線機は、現在のサイトからの信号が弱くなったり、無線機が現在のサイトから信号をまったく検出できなくなった場合に**のみ**、新規サイトをスキャンします。RSSI 値が強ければ、無線機は現在のサイトのままです。

手順：

1. プログラムされた［**サイトロックオン / オフ**］ボタンを押します。
2. トーンが鳴ります。
3. 無線機が新規サイトを検索している間は、黄色の LED が急速に点滅します。無線機がサイトにロックオンすると LED は消灯します。

現在のチャンネル（ローミングリスト付きの IP 選択チャンネル）が通信範囲外であれば、［**PTT**］ボタンが押されている間やデータの送信中は、無線機は自動サイト検索も実行します（サイトはロック解除）。

自動サイト検索の停止

無線機が新しいサイトを検索している間に次の手順を実行します。

手順：

1. プログラムされた［**サイトロックオン / オフ**］ボタンを押します。
2. トーンが鳴り、LED が消灯します。

手動サイト検索の開始

手順：

1. プログラムされた［**手動サイトローミング**］ボタンを押します。
2. トーンが鳴り、緑色の LED が点滅します。
3. ポジティブインジケータトーンが鳴り、LED が消灯します。これは、無線機がサイトにロックしたことを表します。
   または
   ネガティブインジケータトーンが鳴り、LED が消灯します。これは、無線機がサイトにロックできないことを表します。

ローンワーカー

この機能は、あらかじめ定義された期間に、無線機のボタンの押下やチャンネルセレクターの使用などのユーザー操作がない場合に、緊急アラームを発します。

プログラムされた期間にユーザーによる操作がないと、無操作タイマー終了後に、無線機は音声インジケータでユーザーに最初の警告を発します。

あらかじめ定義された通知タイマーが終了してもユーザーによる応答操作がない場合、無線機は緊急アラームを発します。

この機能には、次の緊急アラームのいずれか **1 つ**だけが割り当てられます。

- 緊急アラーム
- 通話及び緊急アラーム
- ハンズフリー緊急警告

無線機は、操作が行われるまで緊急状態のままとなります。この間も音声メッセージは送信できます。緊急状態の終了方法については、22 ページの**緊急アラーム**を参照してください。

この機能は、この機能が有効である無線機に限られます。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

ユーティリティ

スケルチレベルの設定

低いシグナルの不要な通話や、通常の背景雑音よりも強い雑音があるチャンネルを取り除くために、無線機のスケルチレベルを調整できます。

設定：通常がデフォルトです。**深い**にすると、（不要な）通話や背景雑音を取り除きます。ただし、遠隔地からの通話もまた取り除かれる可能性があります。

手順：

1 プログラムされた［**スケルチ**］ボタンを押します。

2 ポジティブインジケータトーンが聞こえます。無線機のスケルチが深い設定であることを示しています。
または
ネガティブインジケータトーンが聞こえます。無線機が通常スケルチ作動中であることを示しています。

パワーレベルの設定

各チャンネルの無線機のパワー設定の高低をカスタマイズできます。

設定： **高**に設定すると、かなり離れた場所にある無線機とも交信できるようになります。**低**に設定すると、近い場所にある無線機と交信できます。

手順：

1 プログラムされた［**パワーレベル**］ボタンを押します。

2 ポジティブインジケータトーンが聞こえます。無線機が低いパワーで送信していることを示しています。
または
ネガティブインジケータトーンが聞こえます。無線機が高いパワーで送信していることを示しています。

オプションボード機能のオンとオフの切り替え

一つのチャンネルは、最大 6 のオプションボード機能をサポートします。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

手順：
プログラムされた［**オプションボード機能**］ボタンを押し、機能のオンとオフを切り替えます。

音声起動送信 (VOX) 機能のオンとオフの切り替え

この機能により、プログラムされたチャンネルでハンズフリーの音声通話を開始できます。VOX 対応アクセサリのマイクが音声を検出すると、プログラムされた期間中、無線機は自動的に送信します。

注： VOX 対応マイクを取り外した後に、別の有効なアクセサリに切り替えるには、無線機の電源を切ってもう一度電源を入れる必要があります。

無線機の動作中に［**PTT**］ボタンを押すと、VOX は無効になります。VOX を再度有効にするには、以下のいずれか **1 つ**の手順を実行します。

- 電源を切り、もう一度電源を入れます。**または**
- チャンネル選択ボタン経由でチャンネルを変更します。
または
- 以下の手順に従います。

注： この機能のオン、オフの切り替えは、この機能が有効である無線機に限られます。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

手順：
プログラムされた［**VOX**］ボタンを押して、この機能のオン、オフを切り替えます。

通話許可トーン機能が有効であれば、トリガーワードを発声して通話を開始します。通話許可トーンが終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。

パブリックアドレスシステムのオンとオフの切り替え

無線機の内部パブリックアドレス（PA）システムの有効、無効を切り替えられます。

手順：

プログラムされた［**PA オン / オフ**］ボタンを押し、機能のオンとオフを切り替えます。

外部 PA システムのオンとオフの切り替え

接続されたパブリックアドレス（PA）ラウドスピーカーアンプと無線機内部パブリックアドレス（PA）システムの間の音声ルーティングの有効、無効を切り替えられます。

手順：

プログラムされた［**Ext PA オン / オフ**］ボタンを押し、機能のオンとオフを切り替えます。

クラクション / ライトのオンとオフの切り替え

お使いの無線機は、クラクションやライト機能で着信を通知できます。有効にすると、着信時に車のクラクションが鳴り、ライトがつきます。

この機能は、ディーラーが無線機のリアアクセサリコネクタに取り付ける必要があります。

手順：

1 プログラムされた［**クラクション / ライト**］ボタンを押します。

2 ポジティブインジケータトーンが聞こえます。クラクションとライト機能がオンであることを示しています。
または
ネガティブインジケータトーンが聞こえます。クラクションとライト機能がオフであることを示しています。

無線機トーン / 警告のオンとオフの切り替え

必要に応じ、すべての無線機トーンや警告（着信緊急アラームトーンは除く）を有効にすることも無効にすることもできます。

手順：

1 プログラムされた［**すべてのトーン / 警告**］ボタンを押します。

2 ポジティブインジケータトーンが聞こえます。すべてのトーンと警告がオンであることを示しています。
または
ネガティブインジケータトーンが聞こえます。すべてのトーンと警告がオフであることを示しています。

アクセサリ

お使いの無線機は、本章に記載されているアクセサリと互換性があります。詳しくはディーラーにお問い合わせください。

アンテナ . . . . . .31 ページ
音声 . . . . . .32 ページ
ケーブル . . . . . .32 ページ
デスクトップアクセサリ . . . . . .32 ページ
マウンティングキット . . . . . .33 ページ
リモートマウントアダプター キット . . . . . .33 ページ
スピーカ . . . . . .33 ページ
その他アクセサリ . . . . . .33 ページ

アンテナ

- VHF, 136 – 144 MHz, 1/4 Wave, スルーホールマウント , BNC (RAD4198_)
- VHF, 146 – 150.8 MHz, 1/4 Wave, スルーホールマウント , BNC (RAD4199_)
- VHF, 150.8 – 162 MHz, 1/4 Wave, スルーホールマウント , BNC (RAD4200_)
- VHF, 162 – 174 MHz, 1/4 Wave, スルーホールマウント , BNC (RAD4201_)
- UHF, 403 – 527 MHz, 2.0 dB Gain, スルーホールマウント , BNC (HAE6021_)
- UHF, 403 – 430 MHz, 1/4 Wave, スルーホールマウント , BNC (RAE4151_)
- UHF, 450 – 470 MHz, 1/4 Wave, スルーホールマウント , BNC (RAE4152_)
- UHF, 450 – 470 MHz, 5.0 dB Gain, スルーホールマウント , BNC (RAE4154_)

XiR M8228 GPS モデルのみ

- コンビネーション GPS/VHF, 136 – 144 MHz, 1/4 Wave, スルーホールマウント , BNC (RAD4219_)
- コンビネーション GPS/VHF, 146 – 150.8 MHz, 1/4 Wave, スルーホールマウント , BNC (RAD4220_)
- コンビネーション GPS/VHF, 150.8 – 162 MHz, 1/4 Wave, スルーホールマウント , BNC (RAD4221_)
- コンビネーション GPS/VHF, 162 – 174 MHz, 1/4 Wave, スルーホールマウント , BNC (RAD4222_)
- コンビネーション GPS/UHF, 403 – 527 MHz, 2.0 dB Gain, スルーホールマウント , BNC (HAE6017_)
- コンビネーション GPS/UHF, 470 – 527 MHz, 1/4 Wave, スルーホールマウント , BNC (HAE6018_)
- コンビネーション GPS/UHF, 494 – 512 MHz, 3.0 dB Gain, スルーホールマウント , BNC (HAE6023_)

- コンビネーション GPS/UHF, 470 – 594 MHz, 3.0 dB Gain, スルーホールマウント , BNC (HAE6025_)
- コンビネーション GPS/UHF, 403 – 430 MHz, 1/4 Wave, スルーホールマウント , BNC (RMAE4035_)
- コンビネーション GPS/UHF, 406 – 420 MHz, 3.5 dB Gain, スルーホールマウント , BNC (PMAE4036_)
- コンビネーション GPS/UHF, 450 – 470 MHz, 1/4 Wave, スルーホールマウント , BNC (RMAE4037_)
- コンビネーション GPS/UHF, 450 – 470 MHz, 5.0 dB Gain, スルーホールマウント , BNC (RMAE4038_)
- 固定マウント GPS アクティブアンテナ (PMAN4000_)
- ウィンドウマウント GPS アクティブアンテナ (PMAN4001_)
- マグネティックマウント GPS アクティブアンテナ (PMAN4002_)

音声

- テレフォンスタイルハンドセット (HMN4098_)
- デスクトップマイク (RMN5050_)
- コンパクトマイク (RMN5052_)
- 高度音声付きヘビーデューティマイク (RMN5053_)
- 高度音声付きバイザーマイク (RMN5054_)

ケーブル

- バッテリーへの電力ケーブル , 10 フィート (3 メートル) ケーブル , 3 アンプ (1 – 25 ワット) (HKN4137_)
- バッテリーへの電力ケーブル , 10 フィート (3 メートル) ケーブル , 3 アンプ (1 – 45 ワット) (HKN4191_)
- バッテリーへの電力ケーブル , 20 フィート (6 メートル) ケーブル , 6 アンプ (1 – 45 ワット) (HKN4192_)
- モバイルおよびリピーター リアアクセサリ コネクタ ユニバーサルケーブル (PMKN4018_)
- イグニションセンス ケーブル (RKN4136_)

デスクトップアクセサリ

- GPN6145 用の無線機電力ケーブル (GKN6266_)
- スピーカなしのデスクトップトレー (GLN7318_)
- スピーカ付きのデスクトップトレー (RSN4005_)
- スイッチモード電源 (1 – 25 ワットモデル) (CE マーク) (GPN6145_)
- 電源 14V DC 10A UNI 117/240 VAC (25 – 60 ワットモデル) (HPN4007_)
- 電源 14V DC 15A UNI 117/240 VAC (1 – 25 ワットモデル) (HPN4008_)

- US ラインコード (NTN7373_)
- Euro ラインコード (NTN7374_)
- UK ラインコード (NTN7375_)
- リアアクセサリ コネクタ用のハードウェアキット (PMLN5072_)

マウンティングキット

- インダッシュ (DIN) マウンティングキット (RLN5933_)
- ロープロファイルトラニオンキット (RLN6077_)
- ハイプロファイルトラニオンキット (RLN6078_)
- キーロックトラニオンキット (RLN6079_)

リモートマウントアダプター キット

- モバイルリモートマウント 5 メートル ケーブルキット (PMKN4073_)
- モバイルリモートマウント 3 メートル ケーブルキット (PMKN4074_)
- モバイルリモートマウント アダプターキット (PMLN5404_)

スピーカ

- 13- ワット外部スピーカ (RSN4002_)
- 7.5- ワット外部スピーカ (RSN4003_)
- 5- ワット外部スピーカ (RSN4004_)

その他アクセサリ

- マイクどめクリップ (すべてのマイク) (HLN9073_)
- ユニバーサルマイクどめクリップ (すべてのマイク) (HLN9414_)
- 数字ディスプレイモバイルボタンキット (緊急やダイレクトモードのボタンを含む) (PMLN5069_)
- プッシュボタン PTT (RLN5926_)
- 緊急フットスイッチ (RLN5929_)
- コンパクトマイク交換ケーブル (RLN6276_)
- ヘビーデューティ / キーパッド マイク交換ケーブル (RLN6277_)

注

MOTOROLA

モトローラ株式会社
〒141-6021
東京都品川区大崎2ー1ー1

MOTOROLA と Stylized M ロゴは、
米国特許商標局に登録されています。
その他すべての商品名およびサービス名は、
個々の商標権者に帰属します。
© 2008, 2009 by Motorola, Inc.
All rights reserved.
2009 年 11 月

www.motorola.com/mototrbo

Radio Communication Solutions

株式会社ジャパンエニックス
JAPAN ENIX CO.,LTD.

□ 本　　社　東京都品川区南品川 2-7-18　TEL 03-5715-2351
□ 関 西 支 店　大阪市西区千代崎 1-24-11　TEL 06-6583-7700
□ 札 幌 営 業 所　□ 名古屋営業所
□ 仙 台 営 業 所　□ 九 州 営 業 所

https://www.jenix.co.jp/　営業所住所はこちら▶

6871439M01-E